

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	平成30年度第3回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	平成31年2月14日（木）午後1時30分～午後4時
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：椎木 俊秀、栗原 玲子、大沼 眞弓、宮澤 ひとみ、陰山 行弘、柳 清美、須永 美智子、岩瀬 香世、千田 祐子、押田 友紀子、佐藤 達也、田野倉 英樹、高橋 毅、鮫島 由美子、茂木 正義、来栖 眞理子、利根川 正、榎本 勝、諏訪 潤 欠席者：佐々木 久子、山本 頼子 事務局：新保課長、阿部係長、石川主事、樋口主事
議 題	1 委嘱書交付 2 報告 （1）平成30年度第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録内容結果について （2）市からの報告 （3）各専門部会からの報告 （4）その他 3 議題 （1）武蔵村山市自立支援協議会専門部会組織編成について （2）その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1について：平成32年度の武蔵村山市自立支援協議会専門部会組織編成について、協議を重ねていく。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） ●会長 ○委員 ■事務局	●自立支援協議会を開会する。 ■配布資料の確認をさせていただく。 事前に配布したものが11点である。 2 報告事項 （1）平成30年度第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録内容結果について ■事前に会議録を配布させていただいている。現時点では修正等の意見はない。修正等の意見がある場合は、今月末までに意見をいただきたい。 （2）市からの報告 ●事務局より説明をお願いする。 ■ヘルプバンドナの作製と市内除草作業の刈払機の使用に係る助成についてであるが、平成31年度の予算として要求させていただいたが、認められなかった。

ヘルプバンダナについては防災安全課との協議の上、避難所の備蓄物資とする。もしくは、平成32年度に再度、予算要求を行っていくということを見据えている。

○予算要求が認められなかった理由については教えてもらえるのか。
また、次回以降の予算要求に当たって、作戦等はあるのか。

■市の財政状況等を加味し、予算要求が認められなかった。ヘルプバンダナの必要性については、引き続き訴えていき、予算が認められるようにしていきたいと考えている。

●どの程度の金額、枚数で予算要求を行ったのか。

■予算額50万円ほどで、枚数については500枚で計上させていただいた。

○ヘルプバンダナの必要性については市の中で認められているのか。

■予算要求の際には何度も説明をさせていただいており、必要性については認められている。

●刈払機の助成に関してはどうなるのか。

■市内除草作業を日中系サービス事業者に委託するにあたって、刈払機を利用する場合、安全講習を受けなければならない。委託事業所に確認したところ、障害者の方が2名おり、その分の講習代の予算要求を行ったが認められなかった。

●他に何か報告事項はあるか。

■（配布資料「むさしむらやまマイファイル（案）【乳幼児期用】等に基づき説明」

○非常に良いものだと考える。学校関係者としても周知等に協力していきたい。

巻末の支援機関一覧は、変更があった際にはどういった対応をされるのか。

■支援機関一覧に関しては変更があった際には更新をしていきたい。

●他に意見等がないようなので部会からの報告にうつる。

（3）各専門部会からの報告

（訪問系サービス事業者部会から報告）

■訪問系サービス事業者部会の委員が欠席のため、事務局から報告させていただく。

訪問系サービス事業者部会では移動支援のガイドブックを作成している。他市のものを参考に作る予定であり、現在はQ&Aをまとめていると

ころである。

○移動支援のガイドブックとは具体的にはどのような内容のものなのか。

■現在まとめているところであり、具体的にはまとまっていない。出来上がり次第、希望する利用者や事業者に配布していく。

(日中活動系サービス事業者部会から報告)

○平成31年度に予定している市内除草作業について事務局から説明があった。B型作業所が中心になって、準備を進めている。

また、優先調達推進法の関係で、教育委員会からの依頼もあったが、依頼の内容等を協議の結果、今回は見送らせていただいた。

部会で毎回行っている情報交換では指導検査についての情報交換が行われ、サービス提供記録票の記録方法などが話し合われた。

●除草作業についてであるが、刈払機の講習代の予算がつかないことで、作業に影響はあるのか。

また、教育委員会からの依頼についてであるが、議事録ではいくつかの事業所が検討するとあるが、検討したうえで、見送ることになったのか。

○市内除草作業については影響はなく、各事業所で準備を進めている。

検討した結果、安全面や利用者に対する支援を鑑みると、困難であり、見送らせていただいた。

(居住系サービス事業者部会から報告)

■居住系サービス事業者部会の委員が欠席のため、事務局から報告させていただく。

部会は10月と12月に開催された。事業所のPRボードについて話し合っており、来年度の設置を目指し、準備を進めている。

また、意見交換を行い、研修会の開催が意見として挙がり、内容等については今後協議を重ねていく予定である。

○ボードは障害福祉課のどこに設置するのかは決定しているのか。

■市民総合センターに設置する予定であるが、具体的にどこに設置するかといったことについては、協議を進めている。

○そのボードでグループホームや短期入所の空き状況などを知ることが出来るのか。

■定員などの基本情報だけであり、そこまでは予定していない。

(相談支援サービス事業所部会から報告)

○各事業所からの報告と事例検討を行った。

キーパーソンの方が入院されたり、亡くなられるケースについて各事業所から報告が上がった。困難ケースの件数が多くなってきており、来年度はそういったケースについての対応を協議していくこととなり、部会の開

催を毎月ごとにする事となった。

●議事録に小平市の放課後等デイサービス事業所が4つ閉所したとあるが、そういった傾向が武蔵村山市でもあるのか。

○武蔵村山市ではないが、報酬改定の結果、経営が立ち行かなくなり、小平市では閉所という結果に至ったと伺っている。

(放課後等デイサービス事業者部会から報告)

○大雨の際、冠水する箇所や送迎の際、危ない道路などをまとめた地図についての話し合いを継続して行っている。

また、「事業所における障害児虐待の防止の対応について」をテーマに学習会を行った。他市の事業所の方も来ていただき、65名が参加した。

その他として、情報交換を行った。通所日数が支給量を超えてしまうことがあり、保護者が実費を負担することもあった。受給者証の発行の際には支給量について説明を市と事業所の双方で行ってほしいという意見が出た。他にも、特別支援学校以外の学校との連携がうまく取れていないことが話題になった。

(障害者のくらしを考える部会から報告)

○ヘルプバンドナや防災、道路について話し合った。

ヘルプバンドナについては、平成32年度に向けて、今後も協議を重ねていきたい。

防災についてはさいかち会館にある防災の備蓄倉庫の見学を行い、どういった備蓄物資があるのかの確認をした。

道路に関しては、以前行った道路に関するアンケートについて、回答者に対して報告等が出来ていないため、報告できるようにしていきたい。

それ以外では、部会での活動を市のホームページに掲載してほしいという意見が出た。

●市のホームページに部会の活動を掲載することについて、事務局から意見はあるか。

■掲載については可能であるが、掲載する報告等については各部会で作製していただくことになる。

○了解した。

(障害者のはたらくを考える部会から報告)

○いなげや直営子会社の見学を行った。当事者15名、支援者3名、保護者1名に参加いただけた。当事者の方が働かれている場面の見学も行うことができ、その後、本社で会社の方から講演をしていただいた。好評であったため、来年度も見学会を検討している。

また、サンシャインホームの実習を予定していたが、中止となった。

(4) その他

●他に報告事項がないため、議題に移る。

3 議題

(1) 武蔵村山市自立支援協議会専門部会組織編成について

■(配布資料 資料2、資料3に基づき説明)

○情報交換の場という意味でも自立支援協議会はとても大事だと思う。再編成がなされ、議題がより活発になるのであれば、良いと考える。

○資料を見ると、訪問系サービス事業者部会と相談支援サービス事業者部会を合併し、1つの部会にすると思われるが、現在、訪問系サービスは5事業所参加しているのに対し、改変後は2事業所になっているのは何故か。

■現在は全ての事業所に出席していただいているが、その中の代表の事業所に参加していただくことを想定しているためである。あくまでも案であるため、詳細については今後協議をしていくことになる。

○療養生活については地域相談支援部会で検討することになるのか。また、医療的ケア児についての協議の場を設けることになっていたと思うが、それに関しては子ども支援部会で協議していくことになるのか。

■どの部会でこういったことを検討していくかは再編成検討部会で協議していくことになると思う。また、各部会を合同で開催するなどして会議の内容を限定しないようにしていきたいと考えている。

●専門部会編成検討会において、平成31年度中の設置を検討とあるが、その検討会の日程などについては決まっているのか。

■今回の自立支援協議会で意見を図ってからと考えているため、日程等については追って連絡する。

●地域生活支援拠点等検討会についても同様であるか。

■その通りである。障害者計画の中でも平成32年度までに設置とあるので協議を重ねていきたい。

○他市では1つの建物に機能を集約する。若しくは、現在ある事業所と連携を図り、整備していくといった方法で整備していると伺っている。

■近隣の市町村では八王子市、国分寺市、三鷹市が拠点の設置をしたと伺っている。東大和市でも検討委員会を設置していると聞いている。現在、資料を集めているところである。

○障害者計画の策定の時、自立支援協議会での意見が反映されたと思うが、地域生活支援拠点等の設置においても同様に、自立支援協議会での意見を集約していくべきである。

■了解した。

	<p>○事業者部会において、今まで全ての事業所が参加していたが、代表の事業者だけが参加することにより、同サービス事業者同士の協議の場が減ることについても検討をするべきである。</p> <p>■了解した。</p> <p>●あまり時間もないものと思われるので、事務局にてある程度、原案をまとめ、検討会でそれを揉んでいくといった形が良いと思われる。</p> <p>■了解した。</p> <p>(2) その他</p> <p>●事務局より説明をお願いします。</p> <p>■配布資料4で、来年度の自立支援協議会の日程をまとめさせていただいた。確認をお願いしたい。</p> <p>●来年度の自立支援協議会の日程は資料のとおりとする。 以上をもって、平成30年度第3回自立支援協議会を終了する。</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 傍聴者： 2 人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">()</p>
-------------	---

会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示 (根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示 (根拠法令等：)</p>
--------------	---

庶務担当課	健康福祉部	障害福祉課	(内線：642)
-------	-------	-------	----------

(日本工業規格A列4番)